

本時のねらい

・正しいハードリングの姿勢を身につける。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・1人1台タブレット端末を活用して、ハードリングの姿勢における自己の課題、仲間の課題を見つけ話し合う。
・見つけた課題を班で共有して、改善方法を考え、お互いに助言する協働学習のツールとする。
・撮影した動画をロイロノートで提出して各自の振り返りに活用する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・カメラ機能 ・授業支援ソフト（ロイロノート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーミングアップ（ランニング、ラジオ体操第2、補助運動） ○本時の「めあて」前時を振り返り正しいハードリングのポイントを確認。スピードの乗った状態で跳ぶことを確認。 ○4人組、ハードルの間隔（6m、6.5m）の確認。録画する方向のアドバイス。【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ○撮影する角度でのハードリングのフォームの確認ポイント <ul style="list-style-type: none"> ・前からは振り上げ足の裏が見えるか（足が曲がっていると見えない） ・後ろからは抜き足が横から抜けているか ・横からは振り上げ足が真っすぐ伸びているか
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでハードルを1台用意し、横1列に設置し1方向から跳ぶハードリングの練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・スピードに乗った状態で跳ぶ。 ・ハードルを低く跳び越えることを意識する。 ○ハードルを2台(6m2列、6.5m2列)の4列に並べる。 ○4人組で相互に交代で撮影する。【写真2】 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで動画を確認して振り返り、フォームの改善点等気づいたことを話し合う。 ○再撮影 <ul style="list-style-type: none"> ・班で指摘された改善点を意識して跳ぶ。 ・何回か繰り返す。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで1台のタブレットを用意し、仲間のハードル走の撮影をする。1台にすることで、4人で一緒に動画を確認し、気づいたことを話し合う協働学習のツールとして活用する。 ○角度を変えて撮影する。導入で説明のあったポイントを4人で確認することで、より正しいハードリングの姿勢についての認識が深まる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○できたことや難しかったことを振り返り、次の授業につなげる。 ○撮影した動画をロイロノートに提出して共有し、各自の端末で動画を見直して振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4人に1台で撮影した動画を、ロイロノートで共有することで上達の様子を共有して確認できる。 ○また、1人1台端末で各自、自分の動画を確認して、自分の課題を振り返ることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】正しいハードリングの姿勢のポイントを確認している様子



【写真2】4人で1台の端末を交代で撮影している様子



【写真3】みんなで動画を確認して課題を話し合っている様子

児童生徒の反応や変容

・撮影動画を見て、生徒同士が話し合い活動をすることで、意欲的に楽しんで取り組むことができた。
・撮影動画で確認した自分の課題に気づくことができ、再チャレンジをする姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・動画撮影の位置と確認するポイントを事前に伝えることで、それぞれの課題を明確にすることができ、主体的な話し合いを促すことができた。
・映像で確認するので、他者評価の言葉だけでなく、各自がしっかりと課題をメタ認知できることで、意識して実技に取り組めた。